

右室二腔症における術後経過と10年後の予後調査（後ろ向き調査）

Surgical outcomes and postoperative prognosis beyond 10 years of double-chambered right ventricle

研究の概要

右室二腔症は、右室心筋の異常発達により右室内で圧隔差が生じる先天性心疾患であり、非常に稀な疾患です。進行性の病気であるため、症状がある患者さんまたは右室内の圧が高い患者さんには早期に手術を行うことが推奨されていますが、一方で、術後長期における再発有無を調べたデータはほとんどなく、無症状患者さんへの手術適応は未だに定まっていません。本研究において、1981年から2009年の間に当院にて右室二腔症に対して手術を施行された患者さんを対象とし、心エコー検査とカテーテル検査を参照して、術後長期における予後と再発の有無について調査します。

患者さんをお願いしたいこと

基本的には過去の日常臨床で行われた検査結果の調査です。研究のためにこれから患者さんの負担となるような行為はありませんし、この調査の対象となっていることによって、研究的な投薬や治療が行われることはありません。

研究内容の開示について

研究計画書や、研究に関する資料は、他の患者さんの個人情報保護に抵触しない限り閲覧が可能です。

研究結果の発表について

本研究の結果が、学会や医学誌で発表される場合がありますが、患者さんの氏名、生年月日、住所などの、個人を特定できる情報、プライバシーにかかわる情報は一切公開されません。また、研究の途中過程においても匿名化され、これらの情報が漏れることのないように細心の注意を払っております。

研究の拒否について

上記条件に該当する患者さんの中で、本研究への協力を拒否される場合は、いつでも参加を取りやめることができます。その際、下記に記しました循環器内科・天野まで御一報ください。なお、拒否されることで患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

当院における本研究の責任者：循環器内科 中川義久、天野雅史
連絡先：天理市三島町200 天理よろづ相談所病院 循環器内科
電話番号：0743-63-5611